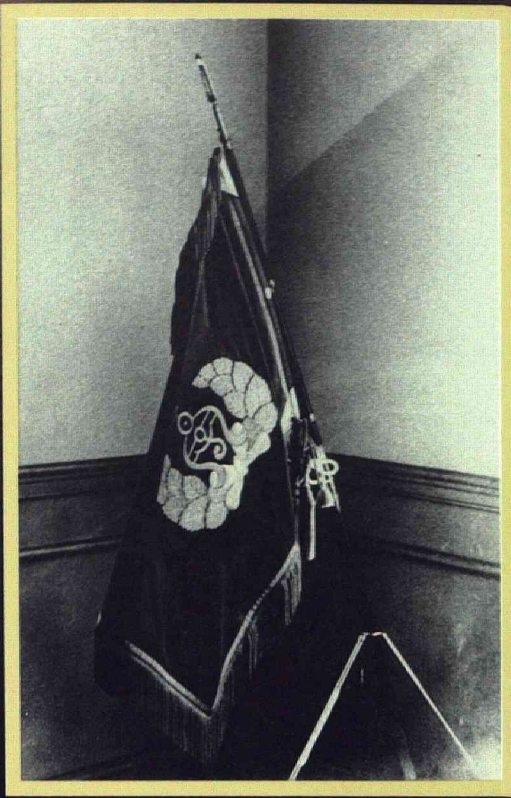
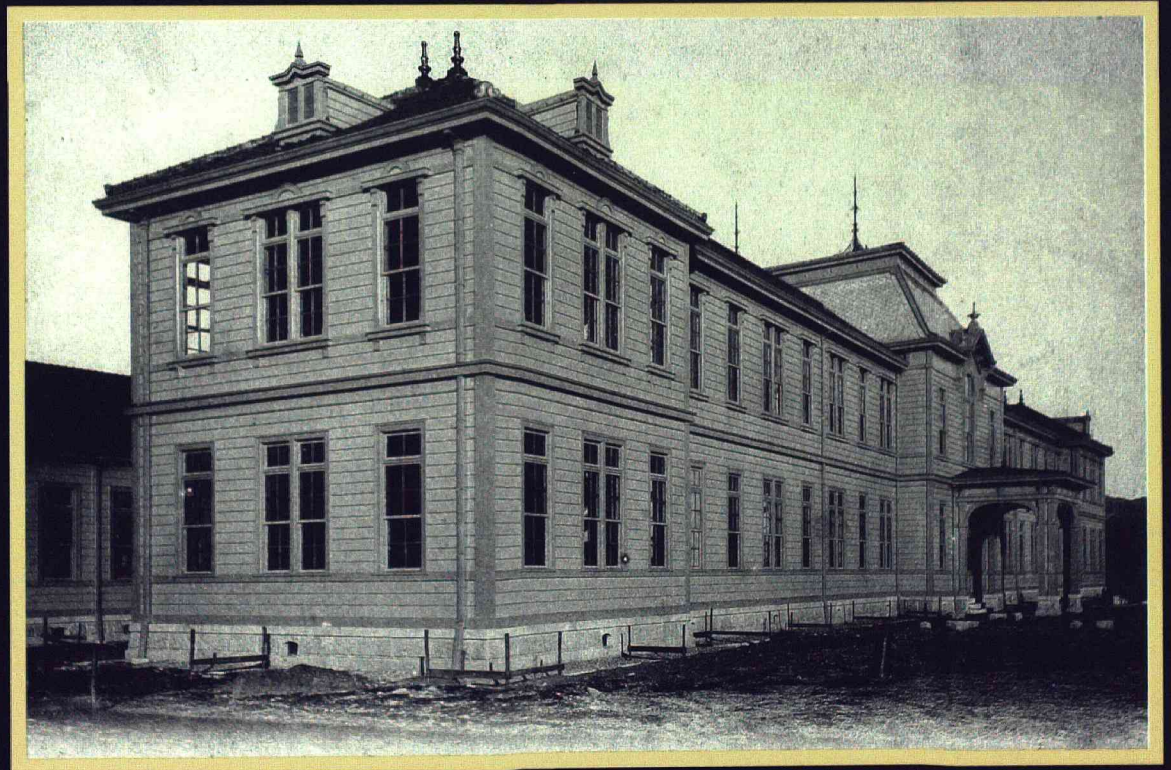


草創期の 上田蚕糸専門学校

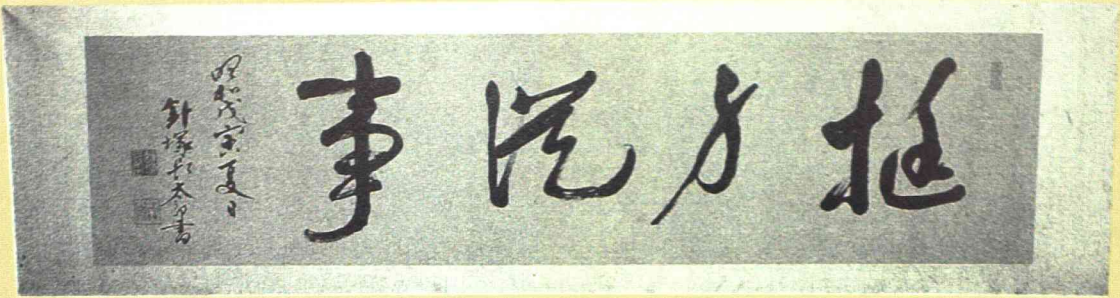
校旗・校風・校歌



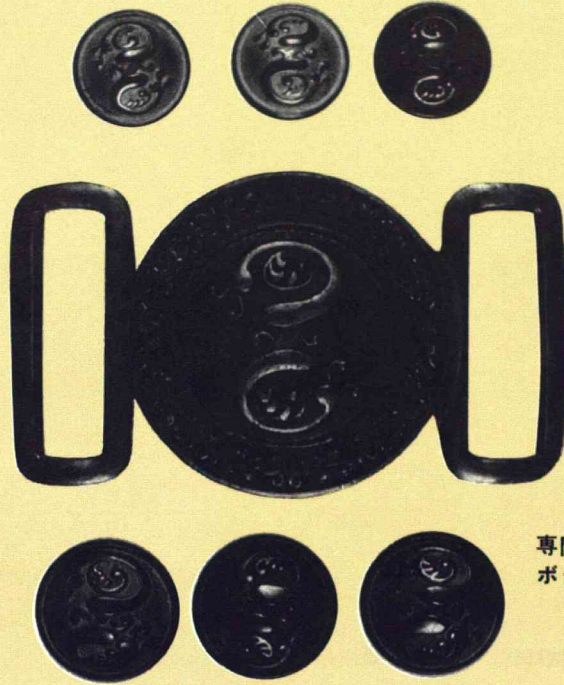
上田蚕糸専門学校校旗（昭和9年11月本校校旗制定）



本館校舎竣工（明治44年11月）



初代校長 針塚長太郎書「挺身従事」開校以来本校のモットーとされている。



専門学校時代の
ボタンとバックル

校歌

一
 中國の志をましますを
 富れ基成らんと
 龍橋の道と究をば、
 天子誠乃ありんよ

二
 夜を日ふげも労働歌
 神の恵れとやとるなる
 身よま汗もやまふ
 深き同情はなみよ

三
 都を花を足すもあり
 吾輩の徳をついで
 千曲の川に光る月の
 清き其の名を秋とる

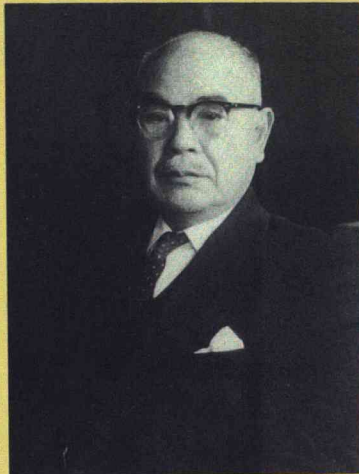
四
 法園乃大名まますを
 富れ基を聞かむと
 盤鉢はさを究めつ、
 はとす謀のありんよ

上田蚕糸専門学校校歌 作詞文学博士 上田萬年先生 (明治44年6月校歌を募集制定)

歴代校長・学部長



第3代校長・初代学部長
伊藤武男
(昭和20年12月～昭和33年8月)



第2代学部長 林 貞三
(昭和33年8月～昭和35年3月)



第3代学部長 小泉清明
(昭和35年4月～昭和41年4月)



初代校長 針塚長太郎 (明治43年8月～昭和13年3月)



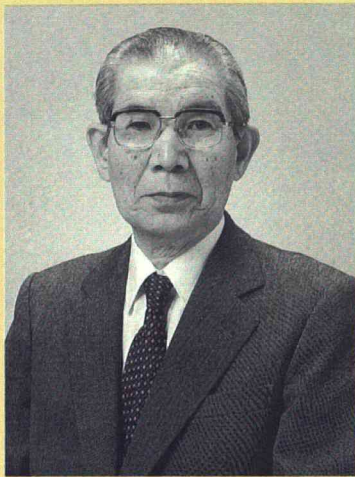
第2代校長 井上柳梧
(昭和13年3月～昭和20年12月)



第7代学部長 北條舒正
(昭和50年4月～昭和56年11月)



第4代学部長 柳沢延房
(昭和41年4月～昭和43年4月)



第8代学部長 長島栄一
(昭和56年11月～昭和60年6月)



第5代学部長 白櫻 侃
(昭和43年4月～昭和47年4月)



現学部長 篠原 昭
(昭和60年6月～)



第6代学部長 田口亮平
(昭和47年4月～昭和50年4月)



草創期の教官



開校当時の教官



和田教授



井上教授



築地教授



新楽教授



三吉教授



石倉教授



川瀬教授



三谷教授



阿形教授



大滝教授



早川教授



朝比奈教授



原田教授



遠藤教授



北島教授



半田講師



古谷講師



勝木教授



佐藤(春)教授



佐藤(利)教授



岩岡講師



石森助教授



林助教授



松村助教授



宮島助教授

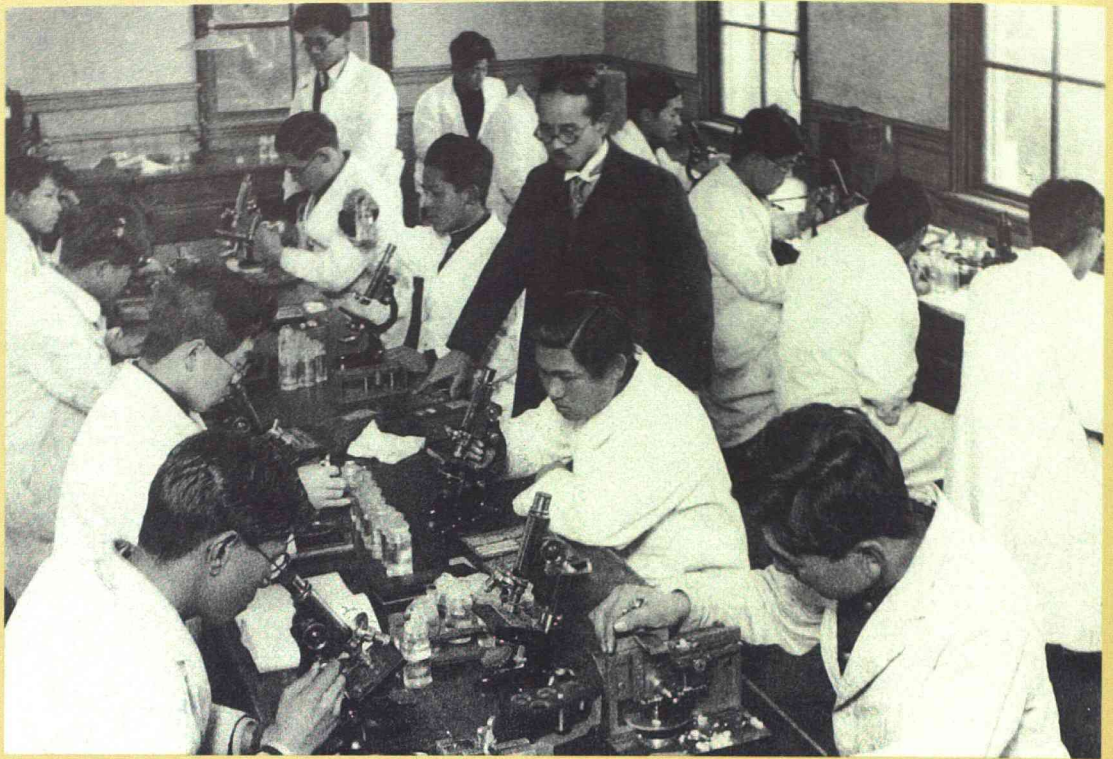
草創期の授業風景・校内の主な建物



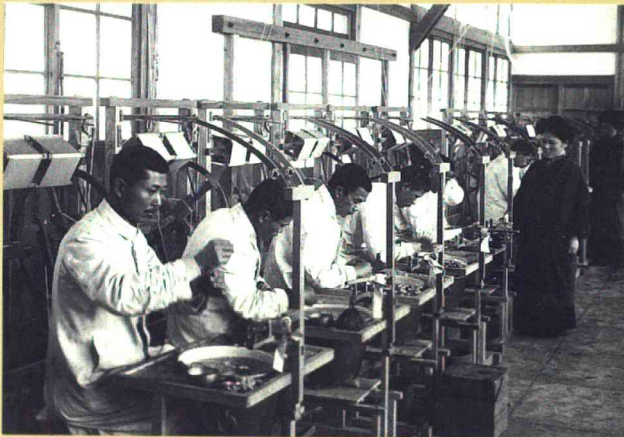
開校当時の講堂 旧本館二階中央（大正初期）



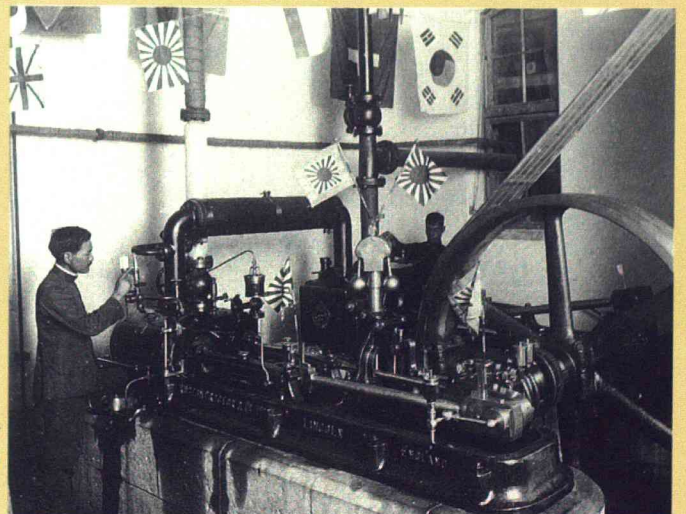
授業風景（大正初期）



授業風景（大正初期）



足踏座ぐり実習（大正初期）



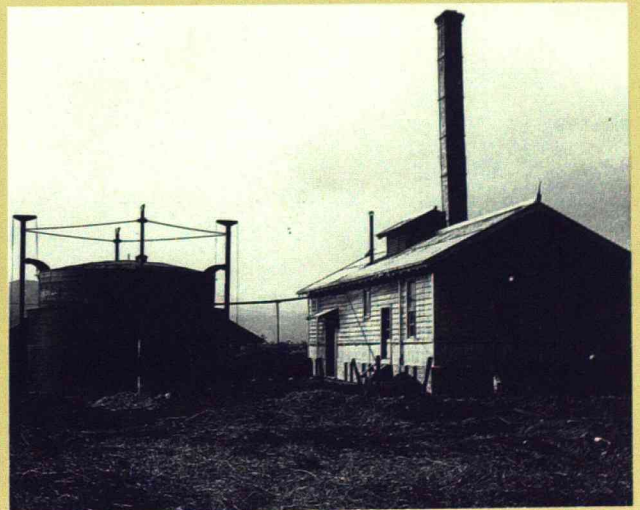
開校記念展示品・蒸気エンジン
（大正2年）



簡易水道用貯水タンク 開校当時は水道及びガス等
すべて自給自足であった（大正初期）



製糸工場及び貯繭庫（大正初期）



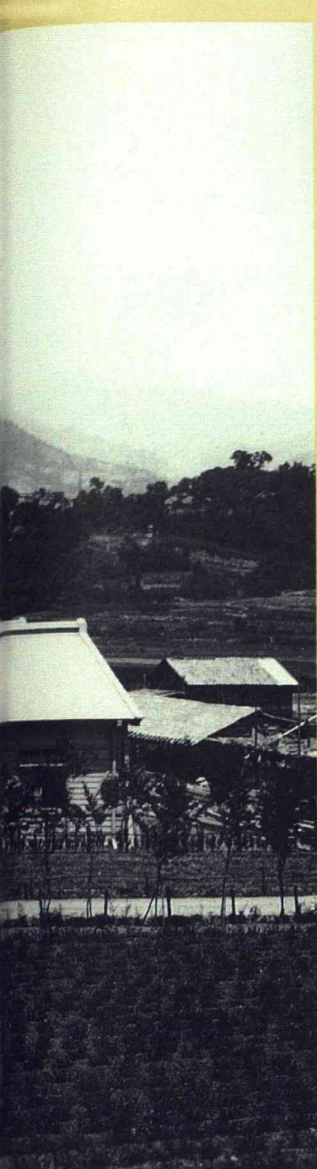
石炭ガス発生室及びガスタンク（大正初期）



雪の校舎全景（大正初期）



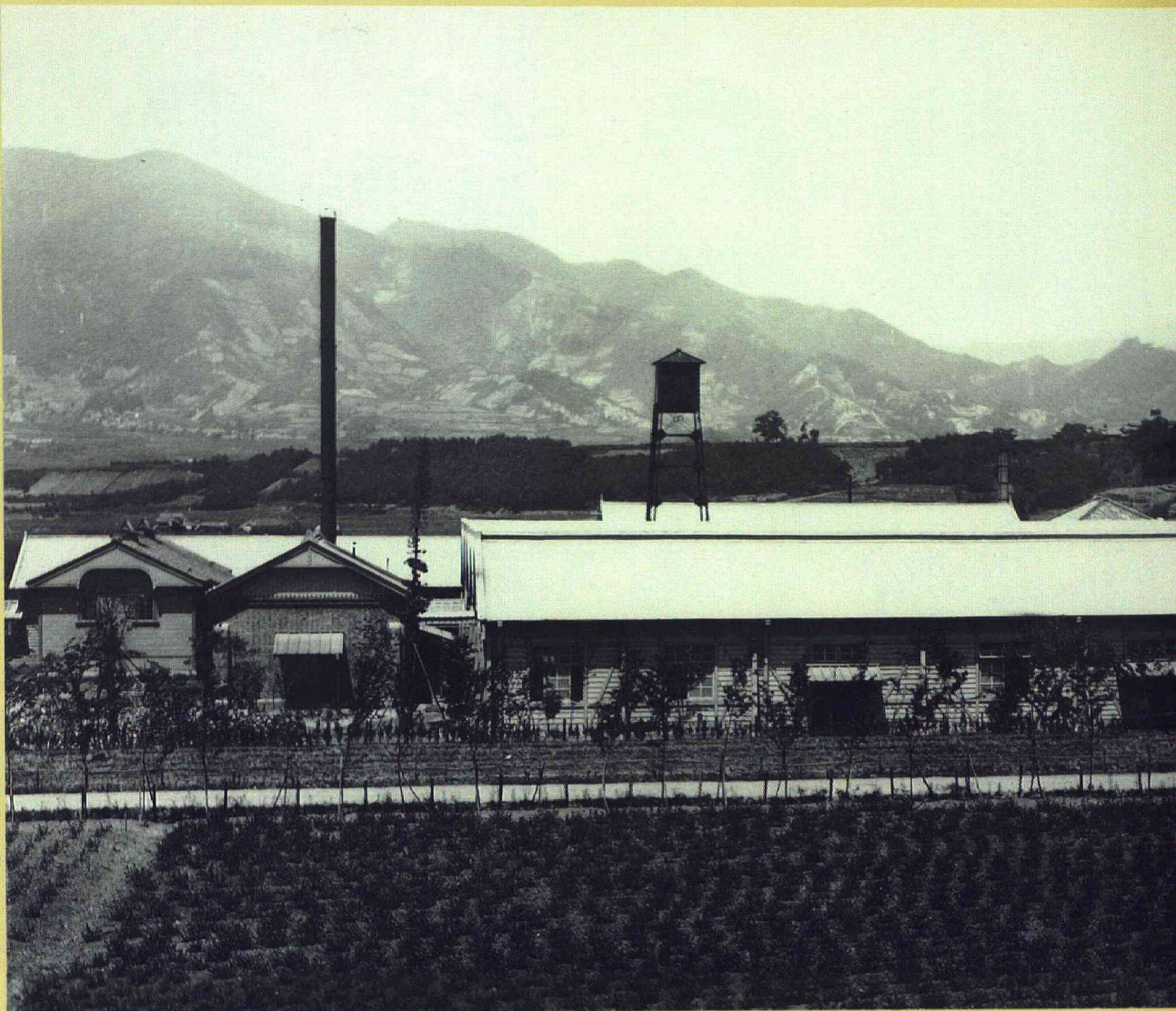
大正初期の蚕室と桑園



貯桑室（大正初期）



繭乾燥室及び
蒸気発生用汽罐室
（大正初期）



開校当時の工場（大正初期）



養蚕科教官用実験室
（大正初期）

昭和初期の教官



阿形教授



井上教授



和田教授



大瀧教授



石倉教授



遠藤教授



早川教授



佐藤(利)教授



原田教授



岡教授



佐藤(春)教授



古谷教授



内田教授



金子教授



清水教授



蒲生教授



林教授



小澤教授



目崎助教



須田助教



森山助教



岩崎助教

後藤講師



三谷講師



田中講師



窪田助教



松岡講師



倉澤講師



伊藤講師



杉本教師



飯塚名誉師範



福島配属将校



石川講師



高橋講師



荻原教師



林教師



北澤教師



山口教師



野口教師



三輪教師



中村講師



丸山講師



前石橋配属将校



半田講師



人造絹糸の勃興

わが母校においては、創立当初より人造絹糸の研究教授が行なわれていた。



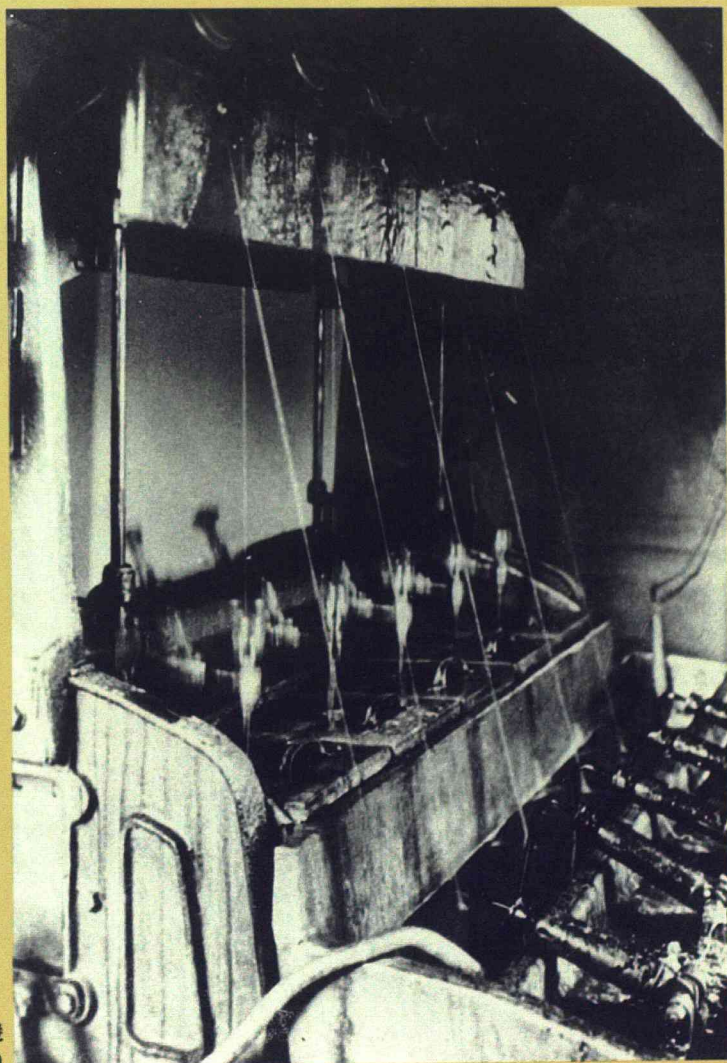
朝比奈晃十教授
(大正2年～5年)



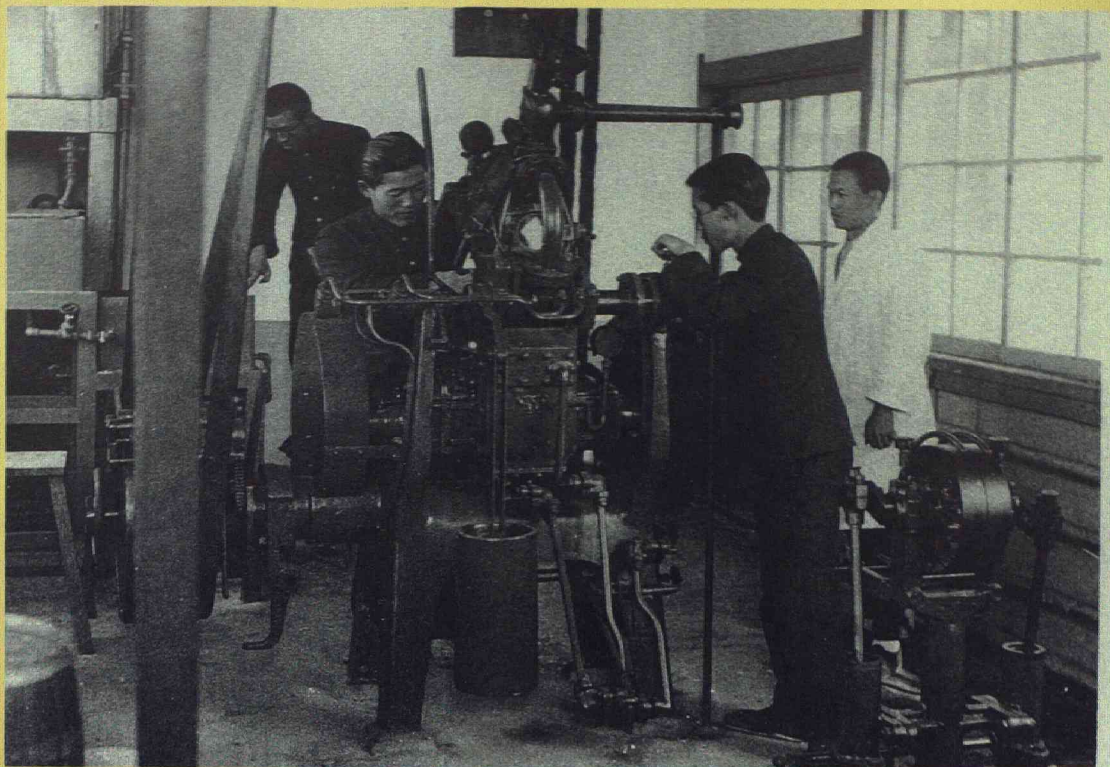
加美好男胸像

朝比奈教授は明治44年ドイツに留学中に人絹の研究をはじめたようである。本校在任中同教授の教え子であった加美好男氏（製糸科3回）は後に新興人絹(株)技師長となる。

本学図書館には同氏より寄贈された人絹に関する貴重な図書が加美文庫として保存されている。



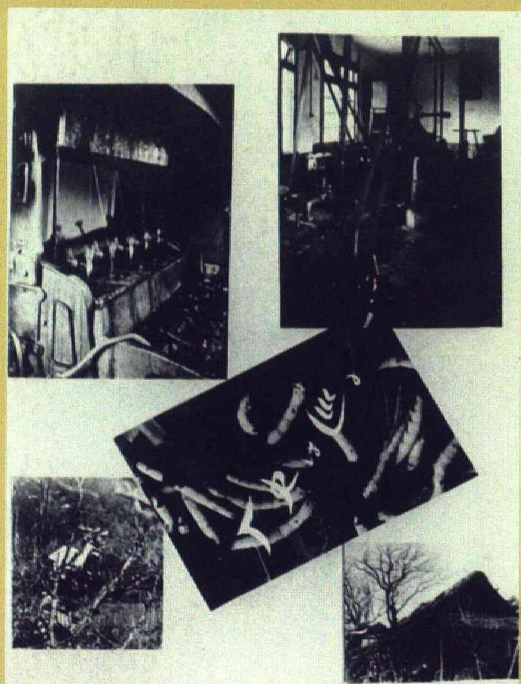
ラチンガー社製遠心紡糸機
(日東紡KK寄贈)



フライデラー社製の破碎機（昭和6年）



人絹製造実習（昭和15年）



歴史はめぐる……
蚕糸が人絹に追われる図
（昭和10年）